路　盤　工（リベースジョイント工法･リベース工法）

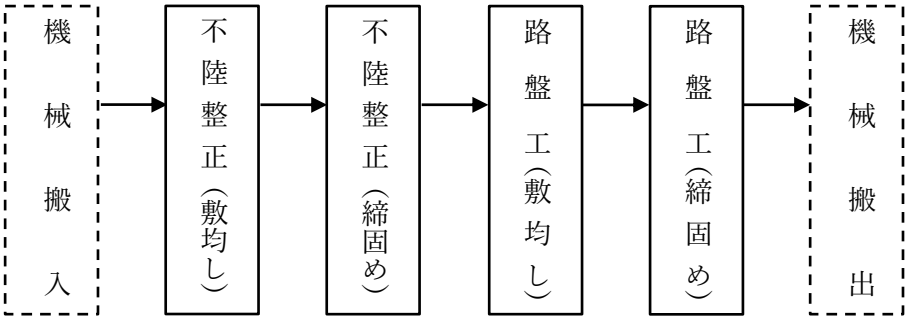
1. 適用範囲

本資料は、アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工で粒調 Fe 処理材（粒調 Fe 石灰路盤材）を採用するリベースジョイント工法・リベース工法に適用する。

また、一層の仕上り厚さは、20cm までとする。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



（注）1．本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
　　2．不陸整正は、必要に応じて計上する。

3.施工歩掛

3－1．種類の選定

路盤工における機械・規格は、次表を標準とする。

表 3.1　種類の選定

作業種別		機械名	規格
車道･路肩部	路盤工	モータグレーダ	土工用･排出ガス対策型（第２次基準値） ブレード幅 3.1m
		ロードローラ	マカダム･排出ガス対策型（第２次基準値） 運転質量 10t 締固め幅 2.1m
		タイヤローラ	普通型･排出ガス対策型（第２次基準値） 運転質量 8～20t
歩道部	路盤工	小型バックホウ	クローラ型･標準型･排出ガス対策型 （第２次基準値）山積 0.11m^3（平積 0.08m^3）
		振動ローラ	舗装用･搭乗･コンバインド式･排出ガス対策型 （第１次基準値）運転質量 3～4t

３－２．日当り施工量

路盤工における日当り施工量は、次表とする。

表 3.2　日当り施工量　（1 日･1 層当り）

施工区分	工種	単位	作業日当り標準作業量
車道・路肩部	路盤工	m^2	940m^2/日･層
歩道	〃	〃	268m^2/日･層

３－３．施工量当り日数

タイヤローラにおける施工量当り日数は、次表とする。

表 3.3　施工当り日数　（100m^2 層当り）

施工区分	機械名	規格	施工層数	日数
車道･路肩部	タイヤローラ	普通型･排出ガス対策型（第２次基準値）運転質量 8～20t	１層	0.130
			２層	0.260

３－４．労務歩掛

路盤工における労務歩掛は、次表とする。

表 3.4　労務歩掛　（100m^2 当り）

施工区分	工種	施工区分	単位	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役
車道・路肩部	路盤工	１層	人	0.120	0.110	0.030
		２層	〃	0.240	0.220	0.060
歩道	路盤工	１層	人	1.000	0.410	－
		２層	〃	2.000	0.820	－

（注）１．普通作業員は、車道における施工機械の補助的な作業及び歩道における路盤材の敷均し作業を行う。

３－５．諸雑費

諸雑費は、路盤工での散水及び歩道施工における補助機械に要する費用であり、労務費、機械損料及び機械運転費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.5 諸雑費率

施工区分	単位	諸雑費率
車道・路肩部	%	9
歩道	%	3

4.路盤材料〔粒調Fe処理材（粒調Fe石灰路盤材）〕の使用量

路盤材料〔粒調 Fe 処理材（粒調 Fe 石灰路盤材）〕の使用量は、次式による。

使用量（m^3）＝ 設計量（m^3）×（１＋Ｋ）・・・・**式 4.1**

Ｋ：ロス率

表 4.1 ロス率（K）

県　名	地　区	ロス率
福岡県	全　　域	＋0.33
佐賀県	全　　域	＋0.33
長崎県	全　　域	＋0.27
熊本県	阿蘇地区一円・大津町・菊陽町・菊池市（旭志） 水俣市・津奈木町・芦北町・人吉市・球磨郡一円	＋0.30
	上 記 以 外	＋0.33
宮崎県	全　　域	＋0.30
鹿児島県	全　　域	＋0.30
大分県	全　　域	＋0.30

5.単価表

（1）路盤工（車道・路肩部）100m^2・1 層当り単価表

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.4
特 殊 作 業 員		人		〃
一般土木世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m^3		式 4.1
モータグレーダ運転	［土工用･排出ガス対策型（第 2 次基準値)］ブレード幅 3.1m	日	100/D	表 3.2
ロードローラ運転	［マカダム･排出ガス対策型（第 2 次基準値)］運転質量 10t 締固め幅 2.1m	日	100/D	〃
タイヤローラ運転	［普通型･排出ガス対策型(2011 年規制)］運転質量 8～20t	日		表 3.3
諸　雑　費		式	1	表 3.5
計				

（2）路盤工（車道・路肩部）100m^2・2 層当り単価表

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.4
特 殊 作 業 員		人		〃
一般土木世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m^3		式 4.1
モータグレーダ運転	［土工用･排出ガス対策型（第 2 次基準値)］ブレード幅 3.1m	日	200/D	表 3.2
ロードローラ運転	［マカダム･排出ガス対策型（第 2 次基準値)］運転質量 10t 締固め幅 2.1m	日	200/D	〃
タイヤローラ運転	［普通型･排出ガス対策型（第 2 次基準値)］運転質量 8～20t	日		表 3.3
諸　雑　費		式	1	表 3.5
計				

（3）路盤工（歩道部）100m²・1 層当り単価表

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.4
特 殊 作 業 員		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m³		式 4.1
小型バックホウ運転	クローラ型［標準型･排出ガス対策型（第 2 次基準値）］山積 0.11m³（平積 0.08m³）	日	100/D	表 3.2
振動ローラ運転	舗装用［搭乗･コンバインド式･排出ガス対策型（第 1 次基準値）］運転質量 3～4t	日	100/D	〃
諸　雑　費		式	1	表 3.5
計				

（4）路盤工（歩道部）100m²・2 層当り単価表

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.4
特 殊 作 業 員		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m³		式 4.1
小型バックホウ運転	クローラ型［標準型･排出ガス対策型（第 2 次基準値）］山積 0.11m³（平積 0.08m³）	日	200/D	表 3.2
振動ローラ運転	舗装用［搭乗･コンバインド式･排出ガス対策型（第 1 次基準値）］運転質量 3～4t	日	200/D	〃
諸　雑　費		式	1	表 3.5
計				

6.機械運転単価表

（1）モータグレーダ

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
運 転 手（特 殊）		人	1.00	
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	50.0	
機 械 損 料	モータグレーダ［土工用･排出ガス対策型（第 2 次基準値）］ブレード幅 3.1m	供用日	1.18	
諸雑費（まるめ）		式	1	
計				

（2）ロードローラ

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
運 転 手（特 殊）		人	1.00	
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	33.9	
機 械 損 料	ロードローラ［マカダム･排出ガス対策型（第 2 次基準値）］運転質量 10t 締固め幅 2.1m	供用日	1.23	
諸雑費（まるめ）		式	1	
計				

（3）タイヤローラ

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
運 転 手（特 殊）		人	1.00	
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	32.6	
賃　料	タイヤローラ［普通型･排出ガス対策型（第 2 次基準値）］運転質量 8～20t	日	1.00	
諸雑費（まるめ）		式	1	
計				

（4）小型バックホウ

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
運 転 手（特 殊）		人	1.00	
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	22.0	
賃　料	小型バックホウ クローラ型［標準型･排出ガス対策型（第 2 次基準値)］山積 0.11m³（平積 0.08m³）	日	1.80	
諸雑費（まるめ）		式	1	
計				

（5）振動ローラ

名　　称	規　　格	単位	数量	摘要
運 転 手（特 殊）		人	1.00	
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	11.0	
賃　料	振動ローラ 舗装用［搭乗･コンバインド式･排出ガス対策型（第 1 次基準値)］運転質量 3～4t	日	1.52	
諸雑費（まるめ）		式	1	
計				

7.参考（単価表例）

【積算条件】名称：車道部，発注場所：福岡市，仕上り厚：13cm，施工区分：1層施工

（１）路盤工（車道・路肩部）100m²・1層当り単価表

名　　称	規　　格	単位	数量	単価	金額
普 通 作 業 員		人	0.120	20,800	2,496
特 殊 作 業 員		人	0.110	23,500	2,585
土木一般世話役		人	0.030	26,100	783
路盤材料 (粒調Fe処理材)		m^3	17.29(注 1)	5,050(注 2)	87,315
モータグレーダ運転	［土工用･排出ガス対策型（第２次基準値）］ブレード幅 3.1m	日	0.107	51,080(注 3)	5,466
ロードローラ運転	［マカダム･排出ガス対策型（第２次基準値）］運転質量 10t 締固め幅 2.1m	日	0.107	44,510(注 4)	4,763
タイヤローラ運転	［普通型･排出ガス対策型（第２次基準値）］運転質量 8～20t	日	0.130	32,710(注 5)	4,253
諸　雑　費	労務費、機械損料及び機械運転費の合計額に 9%を乗じた金額を上限	式	1		1,739
計					109,400

（注）1. 100m²×0.13m×（1+0.33）＝17.29m³

2.材料単価は、土木工事実施設計公表単価表(福岡県県土整備部)令和4年7月1日の単価である。ここで、佐賀県の材料単価は土木工事･森林土木工事設計基礎単価表(佐賀県県土整備部)を、長崎県の材料単価は積算基準（単価・歩掛）(長崎県土木部)を参照のこと。また、国土交通省および上記以外の県についてはFe石灰技術研究所にお問い合わせ下さい。

3.（２）モータグレーダ参照

4.（３）ロードローラ参照

5.（４）タイヤローラ参照

（２）モータグレーダ

名　　称	規　　格	単位	数量	単価	金額
運転手（特殊）		人	1.00	23,200	23,200
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	50.0	135(注 6)	6,750
機 械 損 料	モータグレーダ［土工用･排出ガス対策型（第２次基準値)］ブレード幅 3.1m	供用日	1.18	17,900(注 7)	21,122
諸雑費（まるめ）		式	1		8
計					51,080

（３）ロードローラ

名　　称	規　　格	単位	数量	単価	金額
運転手（特殊）		人	1.00	23,200	23,200
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	33.9	135(注 6)	4,577
機 械 損 料	ロードローラ［マカダム･排出ガス対策型（第２次基準値)］運転質量 10t 締固め幅 2.1m	供用日	1.23	13,600(注 7)	16,728
諸雑費（まるめ）		式	1		5
計					44,510

（４）タイヤローラ

名　　称	規　　格	単位	数量	単価	金額
運転手（特殊）		人	1.00	23,200	23,200
燃　料　費	軽油 1,2 号　パトロール給油	㍑	32.6	135(注 6)	4,401
賃　料	タイヤローラ［普通型･排出ガス対策型（第２次基準値)］運転質量 8～20t	日	1.00	5,100(注 8)	5,100
諸雑費（まるめ）		式	1		9
計					32,710

（注）6.「建設物価」(一財)建設物価調査会および「積算資料」(一財)経済調査会の当該月の平均単価

7.「建設機械等損料表」(一社)日本建設機械施工協会

8.「建設物価」(一財)建設物価調査会および「積算資料」(一財)経済調査会の当該月の平均賃料に長期割引率35%を考慮した金額である。